

九州パースセンター助産師

大森希和さん 26

(遠賀町)



福岡新水巻病院(水巻町)と緊密に連携する新しいスタイルの出産施設「九州パースセンター」(芦屋町)で、お産をサポートしている。分娩を扱う医療施設が減っている中、「最先端医療に支えられた家庭的なお産の場を提供したい」と張り切る。

10歳の時に妊娠中の叔母のおなかを触って感動し、この仕事を志した。助産師になり、「お産は妊婦ごとに千差万別だ」と実感。医療機関の側ではなく、妊婦の気持ちに寄り添いたいとの気持ちで募った。

施設は2月にオープンし、10人の赤ちゃんを取り上げた。分娩台はなく、妊婦は四つんばい

家庭的なお産の場提供

になったり、横向きに寝たりして出産する。一番楽な姿勢を探す手助けをするのも、大切な役割の一つだ。「お産の主役はお母さん。産む姿勢を自分で選ぶことも、『いいお産ができた』という満足感につながる」

施設は、病院とカルテを共有し、異常があればリスクが低いうちに病院に運ぶ。産前と産後に妊婦の様子を医師に細かく報告し、指示を仰いだり、技術的な指導を受けたりしている。

「医師との信頼関係が安全の要。お母さんが笑顔で赤ちゃんと対面できるよう全力を尽くしたい」

(堀家路代)

伝えたい..... My Message